

# IC Short History

## 第1 回大会まで

オリエンテーリングのビジュアル化は1991年頃から始まった。よりマスコミ受けするようにと考え出された競技がショートディスタンス種目である。まずワールドカップで試行大会が行われた。

日本学連は1992年には長野県山口村の馬籠で第0回大会ともいうべきインカレショート試行大会が開催された。同日に予選・決勝を行う方式はこの時から実施され、現在も引き継がれている。

## 1993 年度 (長野県伊那市)

この時は予選各組 60名のうち 20名が決勝に進出できたりするなど、現在とは少し違うスタイルだった。しかし早くも決勝ではビジュアル区間も設けられ、最初から「見せるオリエンテーリング」としてのコンセプトを打ち出した大会になった。参加者は400名強。

- |               |                |
|---------------|----------------|
| 1 入江 崇 (東北3)  | 山口純子 (名古屋2)    |
| 2 南条伸穂 (学習院4) | 酒井佳子 (北海道4)    |
| 3 武田 光 (早稲田4) | 植田佳子 (広島3)     |
| 4 安良和寿 (筑波3)  | 志村聡子 (早稲田3)    |
| 5 森 泰祐 (山口2)  | 高木貴美江 (京都橋女子4) |
| 6 鈴木卓弥 (東京4)  | 片岡由起子 (筑波2)    |

## 1994 年度 (宮城県鬼首高原)

現地スキーリゾートとのタイアップ、ビジュアルを意識したレイアウト、初めてのシード制。徐々に選手権としてのステータスが高まってきた。翌日の東北大学大会と合せて参加者には 2 日間のイベントとなった。

- |              |             |
|--------------|-------------|
| 1 入江 崇 (東北4) | 田中裕子 (筑波2)  |
| 2 藤城公久 (筑波3) | 志村聡子 (早稲田4) |
| 3 太田晃弘 (東京2) | 山口純子 (名古屋3) |
| 4 野中俊樹 (東京4) | 片岡由起子 (筑波3) |
| 5 岡安隆史 (千葉4) | 稲村仁美 (広島4)  |
| 6 一瀬建日 (京都3) | 中野宏美 (静岡4)  |

## 1995 年度 (栃木県日光地区)

インカレショートはこの大会からブレイクする。参加者は約 600 名。この大会より、レーン制が導入され、選手権としての形態は一応の完成を見る。一方学生新人クラスを設けて多数表彰し、新人の登竜門であることを印象づけた大会だった。来日していた IOF の事務局長とスキーO委員長が大会を訪れ、メダルのプレゼンターとなった。

- |                 |               |
|-----------------|---------------|
| 1 大西淳一 (東京4)    | 山本康世 (国際基督教4) |
| 2 世古口裕史 (東京工業3) | 染矢和子 (千葉4)    |
| 3 藤咲芳春 (東京4)    | 田中節美 (筑波3)    |
| 4 太田晃弘 (東京3)    | 中村正子 (筑波3)    |
| 5 柿並義宏 (東北4)    | 岡原桂子 (筑波4)    |
| 6 山内亮太 (早稲田4)   | 中尾あずさ (実践女子4) |

## 1996 年度 (長野県菅平高原)

この大会は長野県 OL 協会と共催。長野県 OL 協会は翌日に同じレインでリレー大会を開催した。こうしたこともあって大会参加者は 900 名弱まで集まった。

- |               |               |
|---------------|---------------|
| 1 薛孝太郎 (京都4)  | 中村正子 (筑波4)    |
| 2 石澤俊崇 (早稲田4) | 大西真理子 (東京女子4) |
| 3 太田晃弘 (東京4)  | 山内祐子 (日本女子3)  |
| 4 桂田靖之 (名古屋4) | 田中節美 (筑波4)    |
| 5 渡辺研也 (東北3)  | 田中裕子 (筑波4)    |
| 6 美濃部篤 (筑波3)  | 堀井亜紀 (筑波3)    |

## 1997 年度 (静岡県富士宮市)

翌日には日本学連主催のリレー大会も開催され、参加者はとうとう 1,000 名の大台を突破した。こうした営業努力と民宿西の家のスポンサーによる地図作成もあり、過去最高の黒字を計上した大会となった。

「見せるオリエンテーリング」を強く意識した演出で、決勝進出者は本当に輝いて見えた大会だった。この大会から地図は1:10,000縮尺となった。

- |                |              |
|----------------|--------------|
| 1 美濃部篤 (筑波4)   | 金子恵美 (東京女子4) |
| 2 山口大助 (千葉4)   | 渡辺円香 (筑波4)   |
| 3 近藤貴文 (東京4)   | 堀井亜紀 (筑波4)   |
| 4 白土英治 (東北4)   | 山内祐子 (日本女子4) |
| 5 兼田倭太郎 (早稲田2) | 丹羽美智子 (東北4)  |

6 篠原岳夫 (筑波2) 堀出知里 (筑波4)

## 1998 年度 (岐阜県坂下町)

スボレク岐阜大会とのタイアップで行われ、地元交渉、施設借用など地元の全面的な協力の下に実現した。当日は時折雨模様となったが、もはやインカレショートのステータスも定着し、応援にも熱の入る大会となった。

- |              |               |
|--------------|---------------|
| 1 村上健介 (筑波4) | 酒井真由美 (日本女子3) |
| 2 篠原岳夫 (筑波3) | 赤石英美 (東京農業4)  |
| 3 水嶋孝久 (静岡4) | 伊藤恭子 (筑波3)    |
| 4 高橋善徳 (筑波3) | 辻井享子 (京都女子4)  |
| 5 石井泰朗 (東北4) | 吉田奈津子 (茨城4)   |
| 6 上野大悟 (東京3) | 河野真理 (日本女子4)  |

## 1999 年度 (栃木県日光地区)

初めて、春のインカレと同じ実行委員会の組織によって運営された。演出も素晴らしく、まさに「見せるショート」を実践した。B-Final がチェイシングスタートで行われ、こちらも好評を博した。インカレショートにE-cardが導入された最初の大会でもあった。

- |               |               |
|---------------|---------------|
| 1 紺野俊介 (早稲田3) | 伊藤恭子 (筑波4)    |
| 2 小野田雄介 (東北4) | 近藤寛子 (国際基督教4) |
| 3 内山裕史 (東京4)  | 上松佐知子 (筑波3)   |
| 4 高橋善徳 (筑波4)  | 塩田美佐 (筑波3)    |
| 5 篠原岳夫 (筑波4)  | 番場洋子 (京都2)    |
| 6 安井真人 (早稲田3) | 安形季見子 (千葉3)   |

## 2000 年度 (滋賀県高島町)

初めて関西で開催された大会となった。関西の中でもショート競技にふさわしい良いテレインを滋賀県に求めた。

「見せる大会」の評価は来日していたプロマッパーのペローラを通じて海外のメディアにも紹介された。

- |                |              |
|----------------|--------------|
| 1 紺野俊介 (早稲田4)  | 小林啓恵 (東北4)   |
| 2 加藤弘之 (東京3)   | 上松佐知子 (筑波4)  |
| 3 猪飼 雅 (金沢4)   | 古澤裕子 (広島2)   |
| 4 安井真人 (早稲田4)  | 番場洋子 (京都3)   |
| 5 小泉成行 (筑波3)   | 下村淳子 (東北4)   |
| 6 蔵田真彦 (東京工業2) | 澤田留己 (京都女子2) |

## 2001 年度 (石川県加賀市)

インカレが初めて北陸地区で開催された。インカレ初の海岸テレインを使用し、等高線間隔2.5mの地図を使用した。翌日には隣町でもある福井県金津町で東日本大会が開催されるように日程調整をして、マルチデーイベントを狙った大会でもあった。

- |               |               |
|---------------|---------------|
| 1 禅洲 拓 (東北3)  | 田島聖子 (東京女子3)  |
| 2 増田佑輔 (筑波4)  | 番場洋子 (京都4)    |
| 3 金澤拓哉 (東北4)  | 黒河幸子 (筑波3)    |
| 4 小泉成行 (筑波4)  | 姫野祐子 (東北2)    |
| 5 新宅有太 (京都2)  | 高橋ひろみ (慶應義塾4) |
| 6 佐々木良宜 (筑波3) | 新宅未笛 (筑波4)    |

## 2002 年度 (長野県菅平高原)

前日は同じ会場で全日本リレー大会が開催され、多数の参加者に恵まれた。今回の目玉は GPS を投入した高精度な地図。しかし大会当日は寒波が日本列島を覆い、標高 1600m の会場はホワイトアウトした。B-Final と併設大会が中止される中、唯一選手権予選と決勝だけが開催された。

- |               |               |
|---------------|---------------|
| 1 青木 博人 (東京3) | 宮内佐季子 (京都2)   |
| 2 禅洲 拓 (東北4)  | 黒河幸子 (筑波4)    |
| 3 堀江 守弘 (東北3) | 石川裕理 (京都4)    |
| 4 久野 雄介 (東京3) | 皆川美紀子 (東京農工3) |
| 5 宇田川雅令 (東京4) | 田島聖子 (東京女子4)  |
| 6 橋本 俊壮 (京都2) | 浅井千穂 (京都3)    |

## 2003 年度 (栃木県矢板地区)

インカレ改革にともなって、インカレショート大会は今回をもって終了する予定。有終の美を飾るランナーは誰か？ 聖地・栃木県で最後の戦いが行われる。

(木村佳司)